

平成 2 5 年

全 員 協 議 会 記 録

平成 2 5 年 1 1 月 5 日

和 光 市 議 会

全 員 協 議 会 記 録

◇開会日時 平成25年11月5日(火曜日)
午前 9時00分 開会 午前10時06分 閉会

◇開催場所 全員協議会室

◇出席議員 17名

議 長	菅 原 満 議員	副議長	栗 原 次 男 議員
2 番	金 井 伸 夫 議員	3 番	熊 谷 二 郎 議員
4 番	須 貝 郁 子 議員	5 番	田 上 安 男 議員
6 番	吉 田 武 司 議員	7 番	阿 部 かをる 議員
8 番	村 田 富士子 議員	9 番	佐久間 美代子 議員
10 番	吉 田 けさみ 議員	11 番	待 鳥 美 光 議員
12 番	駒 井 政 公 議員	13 番	赤 松 祐 造 議員
14 番	猪 原 陽 輔 議員	16 番	齊 藤 秀 雄 議員
18 番	芥 藤 克 己 議員		

◇欠席議員 なし

◇出席説明員

市 長	松 本 武 洋	副 市 長	大 野 健 司
教 育 長	大久保 昭 男	企 画 部 長	石 田 清
総 務 部 長	山 崎 悟	企画部次長兼 財政課長	安 井 和 男
企画部次長兼 政策課長	結 城 浩一郎	秘書広報課長	大 野 久 芳
総 務 課 長	喜 古 隆 広	政策課長補佐	前 島 祐 三
政 策 課 統 括 主 査	渡 部 剛		

◇事務局職員

議会事務局長	富 澤 勝 広	議会事務局次長	本 間 修
議事課長補佐	平 川 京 子	主 事	日下部 直 美

◇本日の会議に付した案件

第四次総合振興計画実施計画（平成26年度～平成28年度）の採択内容について
その他

午前 9時00分 開会

○菅原満議長 ただいまから全員協議会を開催します。

なお、熊谷議員よりおくれる旨の連絡が届いておりますので、御報告いたします。

初めに、市長より挨拶をお願いいたします。

市長。

○松本市長 おはようございます。

平成26年度の第四次総合振興計画実施計画の採択内容についての説明に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

平成26年度の実施計画につきましては、第四次総合振興計画の将来都市像の実現に向け、さきに公表しております行政経営方針のもと、「和光市健全な財政運営に関する条例」に基づく市民との情報共有と協働によるまちづくりを基本とし、平成26年度からの3カ年で取り組む具体的な事務事業を調整いたしました。

社会経済状況を見ますと、リーマンショックや東日本大震災など国の内外を取り巻くさまざまな要因が重なり、長期にわたって低迷していた国内経済も、国の緊急経済対策等による国内需要の喚起、デフレ脱却のための金融緩和策等による円高により、国際競争力を失っていた日本企業が息を吹き返し、景況感の好転、消費マインドの明るい兆しが見えてきております。

しかしながら、なかなか個人収入の増加までは至っていないのが現実であります。

一方では、消費税の税率の改正による景気の腰折れも懸念されることや、中国経済の減速など国外のネガティブファクターも軽視できないことから、依然として当市を取り巻く財政状況は、決して楽観的なものではないとの認識は、議員各位と一致するところであると思っております。

平成26年度の事務事業の採択に当たりましては、ただいま申し上げました状況を踏まえまして、現時点で特に優先度の高い7つの施策を重点施策とし、引き続きファシリティーマネジメントの視点に立った公共財産の有効活用の推進に取り組むとともに、国等の補助、交付金等を最大限有効に活用し、スピード感を持って課題解決に意欲的に取り組んでまいります。

小学校建設やアーバンアクア公園整備事業など、完了に複数年を要する大規模事業が計上されており、多額の財源措置が必要なことから、一時的に収支の不均衡が生じることとなりますが、これにつきましては、さきに申し上げた和光市健全な財政運営に関する条例の理念を遵守し、予算案の上程に合わせて中期財政計画の中で、将来の見通しを明らかにしてまいりたいと、このように考えております。

最後に、毎回申し上げているところで恐縮でございますが、現下の厳しい財政状況を考えますと、予算の調製では、なお一層の精査が必要でございますので、この時点で採択された全ての事務事業やその内容がそのまま予算案に反映されるものではございませんので、ご了承いただきたいと思っております。

それでは、これから実施計画策定の経過及び採択の概要につきまして、企画部長及び政策課

長から説明いたしますので、よろしく願いいたします。

以後は着座で進めさせていただきます。

○菅原満議長 ありがとうございます。

本日の案件は、第四次総合振興計画実施計画（平成26年度～平成28年度）の採択内容の報告についてです。

資料は、10月30日に控室の机上に配付したものととなります。それでは報告願います。

企画部長。

○石田企画部長 それでは、最初に、実施計画策定の経緯を御説明いたしますので、実施計画書の4ページをごらんください。

計画策定に当たっては、今年度も昨年度と同じように、PDCAマネジメントサイクルにより、年度当初に前年度の行政評価を行い、その後、基本的な方針として、平成26年度和光市行政経営方針を定め、駅北口土地区画整理事業、安全な水の安定供給、（仮称）下新倉小学校建設、多様な保育サービスの推進など7事業について重点的に取り組むこととし、各事業の推進と和光市健全な財政運営に関する条例による財政の健全性の視点を念頭に、引き続き選択と集中の考え方のもと、平成26年度から平成28年度の第四次和光市総合振興計画実施計画を策定いたしました。

当市の財政状況は、景気低迷の影響から、減少傾向にあった市税収入が平成24年度決算ではわずかに増加したものの、平成19年度のピーク時に比べると、依然として低い水準にあり、来年度は消費税率の改定による地方消費税交付金の増加は見込まれるものの、繰入金と市債以外の歳入は前年度を若干上回る程度と見込まれます。

一方、歳出の面では、高齢者の増加による扶助費や介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金の増加に加え、土地区画整理事業や（仮称）下新倉小学校建設事業などの新たな財政支出や福祉分野、都市基盤整備における市の負担が増大していることで、厳しい財政運営に直面しています。

このような状況のもと、第四次和光市総合振興計画基本構想の将来都市像「みんなでつくる快適環境都市 わこう」を目指し、防災力の強化に対する市民意識の高まりとともに、地域コミュニティーや家族のきずなの大切さに対する意識の変化、良好な住宅都市を目指したまちづくりや健康づくりへの関心などの機運が高まっていることから、この流れを捉え、既存の取り組みをさらに推進する原動力として生かすことが重要と認識した上で実施計画を策定しております。

本日は、平成26年度実施計画の概要について説明させていただきますが、行政経営方針で示しております平成26年度の歳入は、おおむね210億円程度と見込み、このうち実施計画の対象となる事業費の総額をおおむね139億円程度とし、これに充てる一般財源をおおむね88億円程度を目安として採択を行うよう努めました。

次に、5ページの一般会計（A）の平成26年度実施計画事業費の合計欄をごらんください。

不要不急の事業は採択しない方針で臨みましたが、結果的に採択された実施計画の対象事業費の総額が約163億円となりました。このうち国・県支出金等の特定財源は、約50億円を見込んでおり、一般財源は、約113億円が必要となっております。

ほかに、経常経費などの実施計画対象外経費約71億円と駅北口土地区画整理特別会計への繰出金約4億5,000万円の計75億5,000万円を見込んでおりますので、総予算規模としては、約239億円となります。

この予算規模約239億円とするためには、一般会計の国・県支出金等の特定財源約50億円と駅北口土地区画整理特別会計の国・県支出金等の特定財源約1億円の計約51億円を除いた188億円の財源を確保する必要があります。

予算調整では、これを市税等の一般財源と市債、基金の取り崩し等で補完することになりますが、現時点での歳入見込みは、市税等約157億円、市債12億円の合計169億円となっておりますので、なお19億円ほどの不足が生じております。

予算編成時において、事務事業をさらに精査して事業費を圧縮し、また、基金の取り崩しによる繰り入れや、さらなる市債の発行などが必要であると考えております。

以上が実施計画に当たっての概略であります。実施計画における各施策、方針における主な事業について結城政策課長から御説明いたします。

○菅原満議長 ありがとうございます。

次に、政策課長。

○結城政策課長 おはようございます。

それでは引き続きまして、配付しております資料1及び資料2を使いまして、各施策ごとの主要内容につきまして、概略的に説明申し上げます。

繰り返しになりますが、当初要求では、一般会計及び駅北口土地区画整理特別会計、合わせておよそ192億円ほどの規模になっており、これを先ほど部長が説明したとおり、当市の歳入規模や事業の緊急性等を勘案し、およそ両会計合わせて167億5,000万円程度に絞り込みを行っておりますが、なお予算の段階において相当の重点化を行う必要があると考えております。

また、来年度に向けては、消費税率が1997年から17年ぶりに8%へと増加改定されることから、現在、住宅販売など一時的な駆け込み需要で一部の業界で業績が非常に伸びております。施行後におきましては、内需の反動減による影響を考慮し、国はことし1月から行った緊急経済対策と同様、15カ月予算としまして、5兆円程度の新たな経済対策をこの12月にも策定する予定としております。その内容につきましては、中小企業の設備投資支援策や東京オリンピックに向けた交通・流通網の整備などが上げられておりますが、現時点では不透明な状況でございます。

行政経営方針に示しております施策の方向性、基本的なコンセプトに変更はございませんが、今後、この経済対策の影響により、構成する事務事業の内容が当該実施計画とは変わってくる場合もございますので、御了承いただきたいと思います。

なお、増税に伴う経済弱者救済措置として、低所得者に対する給付措置も検討されていることから、これらの政策が実行されることになれば、財政規模はさらに拡大することも予想しております。

資料1の各事務事業の内容につきましては、既にお目を通されていると思いますので、資料2を使いまして、基本目標ごとに補足説明という形で御説明申し上げたいと思います。

まず、施策1から施策13、基本目標のⅠ快適で暮らしやすいまち（都市基盤）では、区画整理事業5事業が同時進行する中で、駅北口土地区画整理事業では、ことし9月の仮換地指定のもと、平成26年度からは和光市駅北口土地区画整理事業特別会計におきまして、まず、現在の土地区画整理事務所を計画上の第4街区公園、現在ですと東妙蓮寺公園に移設いたしまして、その事務所の移転の跡地から区画道路築造等の諸整備を実施するほか、建物移転等を可能な限り円滑に推進するための補償料を計上、採択しております。

また、組合施行の4事業につきましては、それぞれ事業の進捗状況を見きわめ、財政状況も見きわめる中で、国の社会資本整備総合交付金などを最大限に活用しながら、円滑な事業の推進に資するよう適時適切な支援を行ってまいります。その中で、中央第二谷中地区及び和光北インター地域につきましては、事業計画どおりスピード感を持って事業を完遂することが求められておりますので、それぞれ平成27年度に事業完了すべく、所要の支援を行ってまいります。

また、駅北口土地区画整理事業の一環として、平成28年度施工を目指し、鉄道事業者との連携や東京オリンピック開催を契機とした事業の加速化も踏まえた駅前広場の整備について採択をしております。

このほか、道路整備、交通安全対策では、ゾーン30の実施範囲の拡大や緊急性に配慮した道路整備を進めるとともに、特に、平成25年度に引き続き、児童・生徒の通学時の安全を確保するため、通学路緊急安全対策のための所要の整備を採択しております。

また、平成19年度のふたかけ工事完成以来懸案となっておりますアーバンアクア公園整備につきましては、平成26年度から3カ年をかけてスポーツ公園として、こちらも国の社会資本整備総合交付金を活用し整備する計画で、採択をしております。

このほか、重点施策の一つであります安全な水の安定供給として、平成27年度完成を目途として、南浄水場第3配水池の整備について採択をしております。

次に、施策14から施策31の基本目標Ⅱ、自ら学び心豊かに創造性を育むまち（教育・文化・交流）では、学力向上支援員の配置のほか、引き続き充実した教育相談体制などについて採択をしております。

また、児童1人1人に応じたきめ細かな指導を可能にするため、現在1、2年生に導入している35人学級について、3、4年生にも拡充すること、発達障害児のための通級指導教室を平成27年度を目途に、中学校にも開設するための教室の改修等について、所要の経費、事業を採択しております。

なお、35人学級に係る教員の人件費増につきましては、実施計画の採択事業にはございませ

るので、職員課の経常経費に含めて予算計上する予定となっております。

また、学校給食におきましては、校舎配置上の問題から多額の建設費を要するため、実現に至っていない第二中学校の給食室の改築につきまして、根本的な設計の見直しをもとに、平成27年度実施設計、平成28年度施工として採択をしてございます。

そのほか、小・中学校施設整備では、北原小学校のトイレ改修事業のほか、かねてから議会でも御指摘を受けておりました校舎の非構造部材の耐震化事業について採択してございます。

また、重点施策である新設小学校につきましては、平成26年度からの工事着手、平成28年度の開校を目途として、建設工事その他の経費を採択しております。

このほか、国際交流事業として、平成26年度から隔年を目途に姉妹都市交流の一環として、以前実施していた市民のロングビュー市への派遣事業を採択してございます。

次に、施策32から施策47の基本目標Ⅲ健やかに暮らしみんなで支え合うまち（保健・福祉・医療）では、平成27年度から実施される子ども・子育て関連3法の改定に伴う子ども・子育て新支援制度に適応するため、次世代育成支援行動計画策定事業として、子ども・子育て支援制度事業計画策定及び新システムに対応した電算システムの導入経費などについて、新たに採択しております。

高齢者施策につきましては、平成27年度から実施される第6期和光市長寿介護保険計画・高齢者保健福祉計画策定に係る経費について、新たに採択してございます。

そのほか、子ども・子育て、高齢者及び障害者の各施策につきましては、おおむね前年度からの各施策を継続して採択してございます。

また、障害者施策につきましては、障害者総合支援法の趣旨にのっとり策定した第四次和光市障害者計画及び第4期和光市障害福祉計画に基づき、障害者個々に焦点を当てたきめ細やかな支援制度、サービス利用計画の策定が新たに平成27年度から展開されることから、庁内体制を整備して、今後対応してまいります。

このほか、和光市健康づくり基本条例のもと、今年度から実施しているヘルシーサポート事業を継続して県補助金を受け展開するほか、健康和光21やスポーツ推進計画など、行政分野の垣根を越えた総合的な施策の展開により、誰もが健康で生き生きと暮らせる地域コミュニティ、ヘルスソーシャルキャピタルの構築を目指した事業展開を見据えた3年間の事業採択を行っております。

また、地震等の災害時に自力で避難できない障害者、高齢者が安全に避難行動がとれるよう、災害時要援護者個別計画作成に係る事業を採択してございます。

次に、施策48から施策65の基本目標Ⅳ安らぎと賑わいある美しいまち（生活・環境・産業）では、引き続き、自主防災組織や防災無線、防災資機材の整備・充実を図ってまいります。特に、防災無線のデジタル化につきましては、社会資本整備総合交付金を受け、5年間で事業を完遂する計画で採択しております。

また、消防団施設整備といたしまして、第5分団の消防ポンプ車の更新に係る経費を採択し

ています。

コミュニティーづくりの推進では、補助金を受け、空き店舗を利用し、地域の拠点としてコミュニティカフェを開設し、さまざまなイベント等を通じて、地域コミュニティを醸成するまちづくりコミュニティカフェ事業を採択してございます。

また、地球温暖化防止対策では、環境負荷の軽減の一環として、平成26年度は新たにプラグインハイブリッド車の借り上げを採択しております。

また、環境自治体会議に出席し、環境自治体スタンダード（L a s - E）に準拠した取り組みの継続したチェック体制を確立するための経費についても採択しております。

湧水・緑地の保全と再生では、市民緑地がより安全で快適に利用できるよう、新たに八雲台憩いの森の整備を採択しております。

市の特色を生かした地域ブランドの推進につきましては、地域ブランドの認定を引き続き行うとともに、当市のイメージキャラクターわこうっちやさつきちゃんの露出と活用により、和光市を市の内外にPRするイメージキャラクターPR推進事業を継続して採択しております。

このほか、理化学研究所と市内業者との積極的なかわり合いを支援し、理化学研究所のすぐれた技術が市内産業の振興に生かせるよう、橋渡し役となる産業技術支援員を新たに配置する経費を採択しております。

最後に、基本目標V構想推進に当たっては、公共用地整備事業として、旧消防署跡地に隣接する国有地を取得するための経費を採択しております。

このほか、計画的な行政運営では、平成26年度に市民ニーズや将来を見据えた効果的な各施策の推進のため、事業点検を実施する経費を採択しております。

以上、非常に簡単ではございますが、平成26年度から平成28年度の実施計画のうち、平成26年度を中心に新規事業や主な内容について、その概要を申し上げました。

なお、再三の繰り返しになりますが、予算編成では、なお一層の精査、調整が必要となりますので、全てが採択された内容どおりに予算反映されるものではないことを御理解いただきたいと存じます。また、今後、国の経済対策の内容により、実施計画の前倒しや実施計画に採択されていない事業が予算計上される場合もあることを御了承いただきたいと存じます。

○菅原満議長 以上で報告が終了しましたので、報告に対する質疑を行います。質疑のある方は挙手を願います。

なお、実施計画でございますので、個別事業の具体的な内容等については、この中では触れられないということをご理解をお願いいたします。

それでは質疑を願います。

佐久間美代子議員。

○佐久間美代子議員 施策52の鉄道・バスの利便性の向上のところですが、市内循環バス運行、ここで運行調査等業務委託として150万円の数字が入っていますが、この内容について伺いたいと思います。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 これにつきましては、現在3ルートになっていますが、以前、緊急雇用対策の補助金を使いまして、2路線のときに需要の調査をしたわけですが、新たに3路線になって、需要の変化がどう起きているかというようなことを改めて調査する内容と聞いております。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 御説明の中で、市税収が若干伸びるだろうという御説明があったかと思うんですが、まず消費税率が8%、これは安倍首相が表明しているけれども、まだ確定していないという不安定要素があると思うんです。また、税収の見通しも不透明なわけですが、とりわけ復興増税が今度平成26年度から市・県民税にかかってくる増税だと思うんですが、この辺の歳入はどれぐらい見込んでいるのですか。

○菅原満議長 財政課長。

○安井財政課長 平成26年度の市税につきまして、御質問の復興増税につきます部分については、今回のこの中では見てございません。あくまでも、平成25年度予算と今回の平成24年度の決算の状況も加味しながら、平成26年度は現在の景気の回復基調等も考慮した内容で、平成25年度の調定ベースをもとに算出を行っている状況でございます。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 これまで所得税にかかっていた復興増税が今度市・県民税にもかかってくるわけでしょう。その辺も全然予定していないこの実施計画になっているということなんですか。もう一回確認させてください。

○菅原満議長 財政課長。

○安井財政課長 実施計画におきます今回の市民税の歳入については、その点は見てございません。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 それから、消費税率の引き上げについても、この実施計画の中ではどのように見込んでいますか。

○菅原満議長 財政課長。

○安井財政課長 消費税率につきましては、来年4月から5%を8%へと、3%消費税の増税という中で、現在、そのうちの地方消費税分1%が、平成26年度に3%増税になった場合は、1.7%という資料がございます。今回、平成25年度の予算ベースとこの辺の地方消費税増加分をもとにして、あと来年度予算ですので、全体として、その7割程度を加味した内容を今回の予算額と考えてございます。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 そうすると、3%アップした分の消費税率1.7%なんだと国から示されていると言うんですが、この1.7%で地方消費税が入ってくる場合、金額は総額幾らにな

るのですか。

○菅原満議長 財政課長。

○安井財政課長 現在の1%に対して1.7%、0.7%がふえることになりますので、単純試算では、平成25年度予算から加味しますと、おおむね4億円程度ふえるだろうと、単純推計ではなるかと思えます。しかしながら、それを全額のせるということもやはり現実的な数字ではございませんので、ある程度の割合を掛けまして、今回平成26年度として捉えてございます。

○菅原満議長 赤松祐造議員。

○赤松祐造議員 施策73、市有施設の適切な保全の中で、公共用地整備4億6,949万8,000円とありますが、いま一度、取得後の使用目的等内容の御説明をお願いします。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 基本的には、まず大きな一つの課題といたしまして、現在のひろさわ保育園の老朽化の問題がございます。なるべく早急な建てかえが必要になってくると思うのですが、まずそのための用地の確保とともに、全体として高度利用、それから隣接する旧消防署跡地につきましても、現在、半ば遊休地の形で有効利用されないまま残っております。そういうことも含めまして、一体的な利用ができないかということで、将来まちづくりに資するために、購入をするものです。

○菅原満議長 赤松祐造議員。

○赤松祐造議員 面積だけ、もう一度お願いします。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 およそ2,250㎡でございます。

○菅原満議長 金井伸夫議員。

○金井伸夫議員 施策1の一般会計ですけれども、減歩緩和のための用地取得費を平成26年度から平成28年度で計上しているのですが、これは優先施行区域は減歩が決まっているので、減歩緩和にはならないので、これは優先施行区域以外の用地取得費を計上したものなのでしょうか。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 一般会計における用地取得につきましては、従前に保留地として土地開発公社から取得したものの延納分で、新たに土地を買うというものではございません。

○菅原満議長 佐久間美代子議員。

○佐久間美代子議員 先ほど吉田けさみ議員の質問に対して、消費税が3%増税になった場合の金額が地方消費税に対して0.7%ふえるから4億円増という答弁がありましたが、復興増税の関係ではどのように考えていらっしゃるんですか。住民税にかかるわけですよね。それはなぜここに見込んでいないのか、増税になる金額としたらどのぐらいになるのか伺います。

○菅原満議長 財政課長。

○安井財政課長 先ほども市税の部分で、吉田けさみ議員にもお答えしたところですが、

当初これを作成する段階では資料等もございませんので、今回の当初の中には、復興部分については試算ですとか金額を捉えてございません。

○菅原満議長 佐久間美代子議員。

○佐久間美代子議員 その理由も伺います。

○菅原満議長 財政課長。

○安井財政課長 当初4月、5月に試算をし、7月に行政経営方針として発表した資料でございます。そういった当初の段階ではその辺の試算ですとか、また国等からの示されている資料もありませんので、その金額を反映させることは難しい状況となってございました。したがって、今回の来年度見込みの中には、その辺は加味していない内容となっております。

○菅原満議長 佐久間美代子議員。

○佐久間美代子議員 もう一つ伺いたいんですが、ヘルシーサポート事業ですが、これは県の補助ということなんですけれども、ここにヘルシーサポート500万円という数字が施策44に入っていますが、これを今は試行的にやっていたらっしゃるのかなと思うんですが、平成26年度はどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 これにつきましては、あくまでも試行的なパイロット事業と考えておりますので、計画上は平成26年度限りということでございます。その後の展開につきましては、担当の福祉部門で今シームレス会議等もございますので、その中で、総合的に新たな施策等を打っていくことになると、現在のところは平成26年度限りということになります。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 地方財政計画の中で、15カ月予算が組まれるということで、平成25年度と同じようなケースだと思うんですけれども、そうしますと、今回実施計画の中で示されている事業にそれをまた充当していくと、基本的にそういう考え方で予算を消化していくと考えていいのかどうかということが1点と。平成25年度の15カ月予算計画の中で、国から交付される交付金を平成25年度では使い切ったのかどうか、これからまだ何カ月か残っていますので、それを使い切るような事業を計画しているのかどうか、この辺についてお聞きします。

○菅原満議長 財政課長。

○安井財政課長 まず、今回の消費税に伴います経済対策につきましては、まだ内容等も明確に出ていない中、やはり年内に補正予算という形で、今後出されてくるだろうと推測されます。内容としては、やはりベースとしては、平成24年度国の補正予算にありました緊急経済対策が大きな主力的な内容で来るのではないかと予測も大きく立てられます。そういう中で、今回、平成26年度採択事業であっても、今後の経済対策の中で示されたものであれば、その辺は有効にかつスピーディーに国の予算に対応する方向で、対応できるものについては対応を図っていくという状況になります。ただ、こちらはまだ国も示していない内容ですので、今後の状況を

注視していきたいと考えています。

また、平成24年度の国の交付金、これは多分地域の元気臨時交付金の話ではないかなとは思いますが、これについても、今回、国の限度額が示された中で、今後補正予算の中でその財源の使途について示していきたいと考えてございます。

○菅原満議長 阿部かをる議員。

○阿部かをる議員 施策6、安全で快適な道路の整備で、ここに道路整備、道路管理、それぞれの主な事業の内容と金額が載っているんですが、道路整備計画を立てて5年ごとに見直していくというか、また、完成度を見て進めていくという流れになっているかと思います。ちょうど平成25年で5年間たちますので、その関係の中で、この実施計画の中ではどのような精査をして今後取り組むという、そんな内容を掌握されていच्छゃれば、お聞きしたいと思います。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 基本的に道路整備計画の優先度と整合性もございませうけれども、もちろんそのヒアリングの中でそういう話は出ておりますが、細かいところまでの整合性等を検証してはございませう。それから、そこに示された優先度が必ずしもその順番でできるということではないということも伺っております。その辺も総合的に加味する中で、今一番必要な事業を出してきているということは聞いておりますけれども、細かい検証の話までは、実施計画のヒアリングの中では聞いていないのが現状でございませう。

○菅原満議長 阿部かをる議員。

○阿部かをる議員 議長からのお話で具体的な施策はという前提で、今展開しているわけですが、やはりさまざまな、これだけではなくそれぞれの計画との整合性はあると思うんです。道路整備計画は、特に地権者の方の御了解とか、さまざまなことをクリアしながら進めていかなければならない内容だと思うんですけれども、きちっとした整備計画があれだけしっかり立ててありますので、その辺の原点をしっかりと踏まえながら、実施計画をきちっと実行していただければ、通学路の安全対策はもちろん大事なことでありますけれども、その観点から質問させていただきました。

○菅原満議長 市長。

○松本市長 今の関連でございませうが、道路整備計画、当然かちっと組み立てられたものがありまして、こここのところやってきたわけですが、実際にその道路整備計画で上がっている優先順位と地権者様の都合で出てくるいろいろなお話と、その中で、必ずしも上の順位のものが出てくるわけではございませう。ちょっとそのあたりで、こここのところ道路整備計画を実際に実務上運営してきて、課題が出てきておりますので、おっしゃるような見直しの時期にも来ております。これまでやってきた中で、実際に計画との中で、もう既に全然順位が下のものが先にできていたり、上のものができていないということが現実ですので、そのあたりは、今検証の必要性というものを議論しているところでございませう。

○菅原満議長 斉藤克己議員。

○齊藤克己議員 先ほど、新たな経済対策の話は出たんですけれども、積極的に国や県の補助金などを活用していくということですが、具体的にこの実施計画のPDCAサイクルの中で、政策課として全体を見回しながら、補助金の獲得ですとか、そこら辺のところ、新たに実際にその活用ができるのかどうなのか、その流れについてお聞きします。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 説明の中で、社会資本整備の総合交付金の話がかなり出てまいりましたけれども、今傾向といたしまして、やはり一つのひもつき補助金ではだめだということで、ハード、ソフト相まって、要するに道をただ一つ整備するのではなくて、そこにはどういうコンセプトがあって、どういうまちづくりがあって整備するんだという総合的な考え方がないといけないということです。やはり全体を調整する中で、行政の分野を超えた考え方を持って、ソフト、ハード相まった整備計画等をやはり立てていかなければいけないということで、今後におきましても、なるべく県の補助制度などを企画の側でも注視いたしまして、使えるものは使っていくという形で、今以上に積極的な活用を図っていきたいと思います。どうすれば活用が図れるのかということについても、改めてちょっと研究をしてやらなければいけないと考えております。

○菅原満議長 須貝郁子議員。

○須貝郁子議員 2点確認したいんですけれども。

○菅原満議長 1点ずつお願いします。

○須貝郁子議員 では、施策1の北口の区画整理の中で、平成26年度から業務委託が入ってきているのですが、そのことについてお聞きします。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 この業務委託につきましては、従前から委託している区画整理事業全般の業務委託の継続ということでございます。

○菅原満議長 須貝郁子議員。

○須貝郁子議員 ということは、中身は測量とかそういうことですね。そういう全体の業務委託をまとめて、この業務委託料5,448万4,000円と計上されているだけのことですね。確認です。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 詳細については、ちょっと積算を見ないとわからないですけれども、それも含めた全ての委託料、要するにもろもろの委託料がございますので、それも含めた全ての委託料と御理解いただきたいと思います。

○菅原満議長 須貝郁子議員。

○須貝郁子議員 わかりました。

それでは、もう一つ、施策60の廃棄物の関係で、焼却炉の延命工事はされるのですか、されないのですか。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 焼却炉につきましては、いろいろ今後将来的にどういう方針が必要かということを広域も含めて、今検討している状況でございますので、これにつきましては、運転管理に必要なものの改修、更新をのせております。

○菅原満議長 須貝郁子議員。

○須貝郁子議員 細かいことはここで伺ってもわからないかなと思うんですが、前々から精密機能検査の結果、どうやっていくのかと聞いていたものですから、今年度その精密機能検査が行われています。その結果をもって、計上したのか計上していないのか、どっちなんだろうなと思って伺っただけです。詳細は担当に伺います。

○菅原満議長 市長。

○松本市長 精密機能検査が、まだ全部終わっていないと認識しておりますので、それを踏まえて、これももしかしたら影響があるかもしれません。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 実施計画の説明ということなので、平成27年度に触れたいんですけれども構いませんか。

○菅原満議長 はい、平成26年度から平成28年度まで。

○吉田けさみ議員 67ページの平成27年度の小学校建設に関してです。いよいよもって平成26年度から本当にプレゼンテーションも行いながら、確実に実行されていくんだなと思ってはいるんですけれども、平成27年度の学校建設の特定財源ということで8億4,700万円、これ恐らく起債だろうと見ているんですけれども、起債でまず間違いないのかどうかということ。そうすると、平成27年度でおおむね12億円程度の起債を、これから毎年その程度で抑えていくんだと言われているんですけれども、平成27年度にあっては、特定財源を8億4,700万円と計画していますので、事業に相当いろんな形で影響が出てくるのではないかなと思うんです。だから平成27年度の予算については、起債枠も含めて、どうしても拡大しなければいけないのではないかと一般的に考えるわけなんですけれども、この辺の財政見通しについて、どう考えるのかお聞きします。

○菅原満議長 企画部長。

○石田企画部長 この8億4,700万円は、国の補助金を一応予定しています。起債については、今、議員おっしゃられたように、当然しなければいけない部分が出てきます。それについては、和光市健全な財政運営に関する条例の中で、元金返済額以内という目標は立てていますが、この学校建設につきましては、例外という形になりますので、その枠外で一応考えております。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 そうしますと、設計等いろいろあると思うんですけれども、施設の内容によっても違ってくるかなと思うんですけれども、補助金というのは大体どれくらい見込めるんですか。建設に対する国・県からの補助金はどれくらい見込めるんですか。

○菅原満議長 企画部長。

○石田企画部長 今言ったこの8億4,700万円は建設に対する補助金で、土地取得等々については出てきませんので、一応そういうことでございます。

○菅原満議長 赤松祐造議員。

○赤松祐造議員 施策6に関連して、27ページです。

これから市が計画している（仮称）下新倉小学校の建設に伴う周辺の通学路の整備に関する予算や計画はどのようにこの中に入っているのでしょうか。そこまで考えているのでしょうか。周辺、要するに通学路の整備に関する安全整備ということ。

○菅原満議長 企画部長。

○石田企画部長 新設の小学校につきましては、これから周辺の調査等をしまして、それから具体的な整備という形になります。

○菅原満議長 赤松祐造議員。

○赤松祐造議員 そうすると、この中にはまだ何も書いていないということですね。

○菅原満議長 企画部長。

○石田企画部長 そのとおり、入っておりません。

○菅原満議長 赤松祐造議員。

○赤松祐造議員 その辺も多少なりとも、ここに補足で、今後は書いておいたほうがいいんじゃないでしょうか、いかがですか。こういうものを出すときに。

○菅原満議長 企画部長。

○石田企画部長 実施計画については、3年の計画を立てておりますが、毎年ローリングで見直しますので、その中で具体化していきます。

○菅原満議長 佐久間美代子議員。

○佐久間美代子議員 106ページのこども総合施設建設というところなんですが、平成27年度に7億9,260万円ということで、こども総合施設建設工事が行われるという計画であります。平成26年度に設計予算も何も入っていないのですが、設計はどのように考えていらっしゃるのか伺います。

○菅原満議長 政策課長。

○結城政策課長 これにつきましては、基地跡地利用計画の中で、毎年計上させていただいております。

○菅原満議長 市長。

○松本市長 この事業につきましては、以前からのせておりますが、国有地の購入の関係でこのようになっておりますので、これが即というわけではございません。

要するに、国の跡地利用計画に基づいた事業でございますので、今後、もちろん精査していく中で進んでいくものと考えております。

○菅原満議長 ほかにございますか。

ほかに質疑がございませんので、以上で質疑を終結いたします。

これにて、第四次総合振興計画実施計画（平成26年度～平成28年度）の採択内容の報告についての協議は終了します。

休憩します。（午前 9時58分 休憩）

再開します。（午前 9時59分 再開）

次に進みます。

過日、メールなどにより御報告いたしました議会報告会に関して、市民の方から御意見をいただいております。このことについて、報告と協議がございます。まず報告についてですが、本会議の会議録の粗稿公開の要望がございました。その要望につきましては、和光市議会では、次期定例会の告示日の前日をめどに、その前の定例会における正式な会議録を作成し、公開しております。その間につきましては、本会議終了後、翌日から起算して5日以降、休日等が挟まる場合は休日等が加わりますが、議会のホームページに録画映像を配信しているのので、これを御利用いただければということで考えております。

それから、市議会ホームページからの議員個人ホームページへのリンクについてであります。これにつきましては、後ほど御協議いただきますので御理解いただきたいと思います。

次に、議長の公務日程の予定、公務の予定までホームページ等で掲載してほしいという要望がございました。これにつきましては、議長の公務日程は確定したのもございますけれども、1日に複数の公務が重なることや、執行部側と違いまして、急遽入る予定等もございます。その都度日程を調整しやりくりを行って公務をこなしております。議長公務については、実施した後に市民の皆様への報告として確定したものを公開していくことで考えておりますが、御意見いただければと思います。

また、議会報告会の要領を公開してほしいということもございましたので、これについては既に公開しております。以降の議会報告会に関しても、確定した段階でホームページで公開していく考えでおります。

大体以上のようなことでございますが、何か御意見ございますでしょうか。

〔「なし」という声あり〕

そうしましたら、議会のホームページから議員の個人のホームページへのリンクについて、御意見をいただきたいと思います。これ個々人にかかわる問題でございますので、恐縮ですが、ここで御意見をいただければと思います。なお、ホームページをつくられている方、いない方、また、ホームページのリンクをしている方、していない方、いろいろいらっしゃるかと思いますので、その辺についても十分踏まえて、御意見をいただければと思います。

吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 議会としてのホームページというのは議会が責任を負うということと、個人でホームページを持っている方は、あくまでも個人による作成というところがありますよね。個人なら責任を負うというところで、だからその辺を考えると、リンクしてほしいんだという要望はあるけれども、無理があるんじゃないかなという感想を持っています。

○菅原満議長 赤松祐造議員。

○赤松祐造議員 何でもかんでもリンクしてと、市民が便利を物すごく欲求しているんでしょうけれども、僕はそこまでする必要ないと思うんですよ。ブログなんかは、簡単に自分で見ようと思えば見えるものだから、さっきの考えもあるんですけども、僕はリンクする必要はないと思います。

○菅原満議長 吉田けさみ議員。

○吉田けさみ議員 そういう意見が市民の中で多数あるということだったら、応えてもいいけれども、今の時点ではまだそういう意見というのは、たまたま今回あっただけですか。もうちょっと見送っていいのではないのでしょうか。もう一回言わせてもらいました。

○菅原満議長 村田富士子議員。

○村田富士子議員 私も今の段階では、まだ必要ないのではないかなと思うんです。というのは、やっぱりつくっている人、つくっていない人の差もありますし、全員がつくっていて公開しているというならいいんですけども、そういう公開の状況もいろいろありますので、まだちょっとそこまではいかないんじゃないかなと。あと、見たい方は名前で検索すればいつでも見られますので、利用していただければと思います。

○菅原満議長 御意見をいただきました。また、直接リンク云々となると、技術的な問題、セキュリティの問題ですとかいろいろ検討することもあるかと思います。今いただいた御意見等も踏まえて、これは議会のホームページですので、今後開催される議会運営委員会で、最終的には決定していくことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

ありがとうございます。

では、この件につきましては、議会運営委員会で決定いたしますので、よろしく願いいたします。

それ以外、3項目ございました粗稿の公開、議長日程、要領の公開については、先ほど御報告させていただいたような内容でよいということで、御確認いただきましたので、ありがとうございます。

以上で本日の協議は全て終了いたしました。

本日の記録につきましては、議長及び副議長に一任願います。

これにて全員協議会を閉会いたします。

午前10時06分 閉会

議 長 菅 原 満

副 議 長 栗 原 次 男